

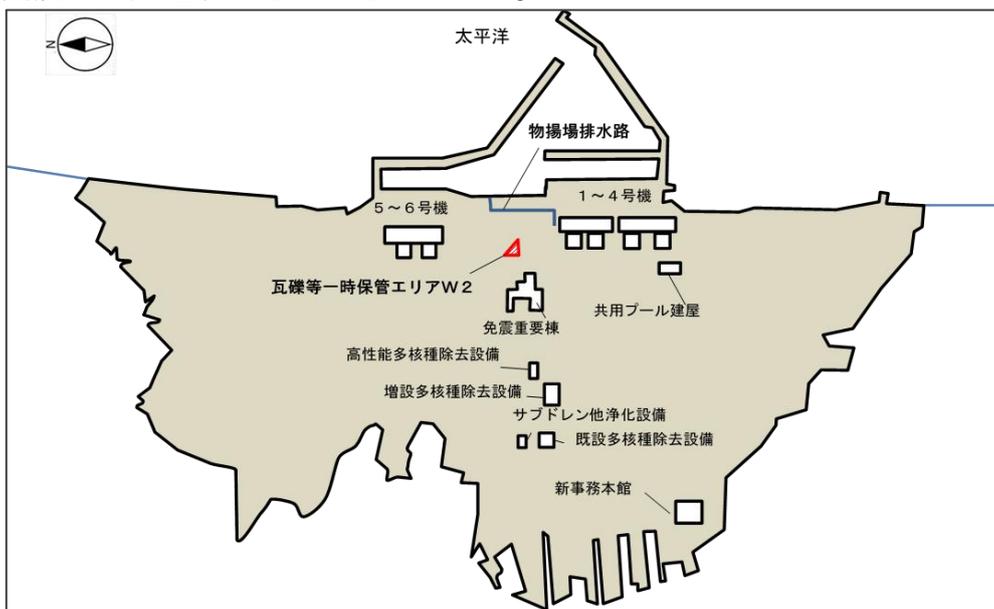
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年3月23日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫等一時保管エリアW2
- 3 確認項目
物揚場排水路の簡易放射線検出器における「高警報」発生に伴う原因調査

4 確認結果の概要

3月2日、物揚場排水路に設置されている簡易放射線検出器（以下、「P S F モニタ」という。）において「高警報」が発生し、全ベータ放射能が高い（全ベータ放射能：890Bq/L）排水が観測された事象の原因調査として、当該排水路の上流側に位置する瓦礫等一時保管エリアW2の放射線測定を実施した。（図1、写真1）

- ・当該エリアには現在、瓦礫や土砂が入れられた土のう袋等が保管されていたが、確認した範囲でベータ線の線量率が有意に高い土のう袋等は確認されなかった。（写真1）
- ・当該エリアのアスファルト部分の一部にベータ線の線量率が高い箇所が確認された。（写真2）
- ・東京電力によると、ベータ線の線量率が高いアスファルト部分については、除染及びシート養生をするとともに、引き続き、他の箇所も含めて原因調査を実施するとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
瓦礫一時保管エリアW2
(北西側から撮影)



(写真2)
 β 線の線量率が高い箇所
(黄枠部分) (南東側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。